

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
 情報交流課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



天ぷら用の新芽を摘み取る児童ら

もえぎ色の茶畑で新芽を摘み取る

■茶摘み体験・お茶の天ぷらづくり

萩間小学校の3年生24人は4月20日、社会と総合学習の一環として、茶摘み体験とお茶の天ぷらづくりを行いました。

児童らは、学校を見下ろす小高い茶園で、地域ボランティアの野ヶ本すみゑさんから摘み方を教えてもらいながら丁寧に新芽を摘み取りました。お茶摘み体験をした児童は「はじめての茶摘み体験が楽しくできた」と話しました。

摘み取った新茶を学校へ持ち帰り、さっそく天ぷらにして季節の味を楽しみました。

会場内に漂う長藤の甘い香り

■東光寺長藤まつり

東光寺長藤まつりが4月15日から30日まで開催され、市内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。

市指定天然記念物でもある東光寺の長藤は、磐田市の行興寺から熊野の長藤を一枝譲り受け育てられ、樹齢100年以上をかけて根回り4メートル、20メートル四方に藤棚が広がります。

今年は例年より1週間早く開花し、3年ぶりとなる夜間のライトアップも行われました。訪れた人たちは、会場内に漂う甘い香りを楽しみました。



長藤の甘い香りを楽しむ親子

迫力ある砂上の熱き戦い

■第45回さがら草競馬大会

国内唯一の砂浜を周回する「第45回さがら草競馬大会」が4月29日、さがらサンビーチで開催されました。この日出走した馬は、かつて中央競馬や地方競馬で活躍したサラブレッドなど約30頭。1周700メートルのコースで競い合いました。

当日は天候に恵まれ、県内外から多くの競馬ファンや観光客などが訪れ、砂煙を上げて力強く疾走する競走馬の迫力に大きな歓声を上げました。このほか、子どもによる人間草競馬やサップ体験なども行われ、会場はにぎわいました。



目の前で競走馬が疾走する姿は圧巻



東日本大震災で被災したブラジル人女性の話聞く参加者

外国籍住民が防災を学ぶ

■多文化共生防災イベント

多文化共生防災イベントが4月16日、カタショーワンラボで市内に住む外国籍住民の防災意識の醸成を目的に行われました。市内や近隣市町などのブラジル国籍住民約60人が参加しました。

「日本では年に何回地震が起きているか」「地震に備えて、普段からどのような物を準備すべきか」などのクイズを交えた防災授業のほか、東日本大震災で被災したブラジル人女性からの被災体験に基づく話が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



全長285メートルの大型豪華客船「ウエステルダム」

「洋上の美術館」がやって来た

■御前崎港に外国客船が初寄港

オランダの大型豪華客船「ウエステルダム」が4月11日、外国客船として初めて御前崎港に寄港しました。

御前崎港周辺のにぎわいの創出、周辺市町の活性化などを目的として御前崎港客船誘致協議会が主催したもので、客船には、アメリカやカナダなど外国籍の乗客を中心に約1,800人が乗船。乗客は、本市などの茶業関係者からお茶のもてなしを受けた後、大鐘家やカタショーワンラボなど、周辺の名所や施設をバスで巡り、本市などを満喫しました。

新たなスポーツクラブの頂を目指す

■まきのはらジュニアアクションスポーツクラブ始動

まきのはらジュニアアクションスポーツクラブは4月15日、発足第1弾の活動としてボルダリング(旧称ボルダリング)体験を行いました。

近年人気が高まるサーフィンやボルダリング、スケートボードなどのアクションスポーツを通じた国際的感覚を持つ人材の育成や地域活性化を目的として、本年度は市内外の小中学生約30人が参加。年間を通じてさまざまな活動を行います。

当日は17人が参加し、色とりどりのホールドをつかみ、全身を使って頂上を目指しました。



市内のボルダリング施設「シークライム」で体験する参加者

市民の安全安心を守るために

■令和5年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月2日、静波体育館で観閲者である杉本市長や市議会議長、静岡市消防局長などが出席し、開催されました。

本年度の新入団員は32人(うち女性消防隊3人)で、神崎克典団長から代表の木村陽太郎さんと道野優花さんに辞令書が交付されました。

団長から「市民の安全安心のために自信と誇りを持って活動してください」と訓示を受けた新入団員や団員らは、引き締まった表情を見せていました。



神崎団長(左)から辞令書を受け取る新入団員代表の2人



「侍ソーラン」を披露する勝間田小学校の5・6年生

つつじに負けない私たちの舞

■勝間田公園つつじ祭り

勝間田公園つつじ祭りが4月9日、勝間田公園内の三栗山山頂広場で行われました。

公園内には、昭和54年に県天然記念物に指定されている「コバノミツバツツジ」が約1万本群生し、例年4月中旬から下旬にかけて見頃を迎えます。今年は暖かな天候に恵まれ、例年よりも早く満開を迎えました。

当日は、勝間田小学校5・6年生の児童54人が、舞い散るツツジの花の前で「侍ソーラン」を力いっぱい披露し、来場者を楽しませました。